

# ミクロ経済学II（第6回）

平成20年度第1学期  
名古屋大学経済学部  
花蘭 誠

## 寡占市場その2：複占市場

- 例外的状況を除いて、純粋な独占企業は少ない。
- **寡占市場：**  
通常、企業数が2以上  
複占：企業数2
- **価格支配力を持つ少数の企業からなる市場で、企業はどのように行動するのか？**

## 戦略的環境

- 企業の利潤最大化行動；  
自社の最適な行動は**他社の行動を予想の上、決定**
- 詳細の必要性：  
どんな行動がいつ行使可能で、また行動を取る際に  
どんな情報を持っているか？  
価格 vs 数量決定、意思決定の順序(同時？逐次？)  
相手に関する情報の有無。
- 他社も同様の考慮をして行動を選択。  
戦略の読みあい。

## クールノー(Cournot)競争

- ある産業、2企業；A,B (n企業に拡張可)
- 各企業は同質財を生産。  
各々の生産量 $q^i, i=A,B$ を選ぶ
- 逆需要関数： $G(y)$   
市場価格： $p=G(q^A+q^B)$
- 費用関数： $C(q^i)$  各企業共通
- 各企業の利潤関数  
 $\pi^i=q^iG(q^i+q^j)-C(q^i)$

## クールノー競争

- 各企業：自らの生産計画決定の際には、相手企業の生産計画の情報はない。⇒相手の生産計画についての**予想**に基づいて利潤最大化。

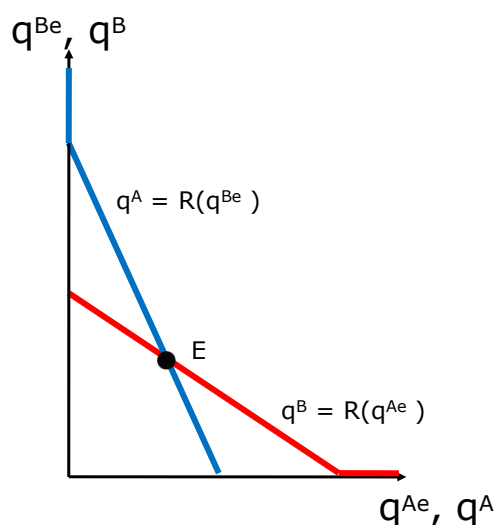
- 企業A；Bの生産量を $q^{Be}$ と予想（予想は所与）  
Maximize  $G(q^A + q^{Be}) q^A - C(q^A)$

一階の条件： $G(q^A + q^{Be}) + G'(q^A + q^{Be}) q^A - C'(q^A) = 0$

⇒反応関数： $q^A = R^A(q^{Be})$ ；予想値 $q^{Be}$ と最適解の関係。

## クールノー均衡

- $(q^A, q^B)$ : **クールノー均衡**
- 1. 相手企業の生産量予想の下、利潤最大化：
  - $q^A = R^A(q^{Be})$
  - $q^B = R^B(q^{Ae})$
- 2. **予想が正しい**：
  - $q^A = q^{Ae}$
  - $q^B = q^{Be}$
- 反応曲線の交点は、上の性質を満たす。



## 練習

- 逆需要関数を  $p = a - (q^A + q^B)$ , 各企業の費用関数を  $C(q^i) = q^{i^2}$  として、複占におけるクールノー均衡を求めよ。

